

新型コロナウイルス感染症予防についての対応（日帰りプログラム）

東京YMCAでは日帰りプログラムを提供する事業として、以下の対策を講じながら運営します。みなさまのご理解とご協力をお願いします。

▼体調管理・検温

- ・参加前に体調の確認を十分にご参加ください。
- ・プログラム開始の3日前から毎朝検温をお願いいたします。
- ・本人及び家族に以下の症状がある場合は参加をお控えください。
発熱、倦怠感、呼吸器の症状、喉の痛み、せき、味覚・臭覚がない、コロナの症状にあてはまる。
- ・発熱し熱が下がった日から4日以内の場合も参加をお控えください。また、熱が2日以上続いた場合は、医療機関等に相談し、医療機関からの参加の承諾を得るようお願いいたします。
- ・参加者本人または同居者が過去2週間以内に海外への渡航歴がある場合は参加をお控えください。
- ・プログラム後、発熱、倦怠感、呼吸器系の異常、味覚・臭覚がない等が見られた場合は、発症の有無に関わらず担当ディレクターまで連絡をお願いします。

▼自粛要請時の対応

- ・緊急事態宣言及び外出自粛要請等が発令された場合は中止となります。

▼在校先または同居者で陽性者が出た場合

- ・濃厚接触者が特定されるまでプログラムへの参加を控えてください。

▼スタッフを含むプログラム参加者で陽性者が出た場合

- ・保健所などの指示に従って対応いたします。
- ・濃厚接触者の疑いのある方へはお電話にてご連絡いたします。感染拡大防止の観点のみでお知らせです。感染者が特定されないように個人情報には十分留意致します。

▼プログラム当日

- ・集合時に検温をします。
- ・受付時には手指消毒、マスクの着用をお願いします。バス車内でもマスク着用の徹底、休憩時には手指と車内の消毒を行います。
- ・貸切バスは1台あたりの乗車率を75%以下(55名定員車両に41名乗車の場合74%)とし、10分以内に車内完全換気が可能な車種を利用します。
- ・ご家庭でも「咳エチケット」「むやみに手で口や顔などに触れない」「至近距離での会話はさける」など感染予防をお子様ともご確認ください。